

評価機構

2022

5

月号

NEWS LETTER

特集

次期病院機能評価の運用開始に向けて (機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0)



人の安心、医療の安全 JQ
公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

次期病院機能評価の運用開始に向けて (機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0)

評価事業推進部 部長 遠矢 雅史

評価事業審査部 部長 松井 春彦

1. はじめに

病院機能評価事業では、2015年の日本医療機能評価機構創立20周年を機に取りまとめた「次世代医療機能評価のアジェンダ」で「地域医療の質向上に寄与するための評価」の実現に向け、「ガバナンス機能を重視した新たな機能種別の設定」および「病院の役割・機能に応じた評価の重視など、評価方法の見直し」の2点の施策を掲げて取り組んできました。2018年度以降は、特定機能病院や大学病院本院を対象とした「一般病院3」の新設に加え、継続的な活動実績を重視する「機能種別版評価項目<3rdG:Ver.2.0>」の運用を行っています。

次期病院機能評価では、現行の病院機能評価をさらに発展・充実させた「機能種別版評価項目<3rdG:Ver.3.0>」を2023年4月から運用開始の予定です。

前回の特集では（2022年1月号）、開発経緯と概要についてご紹介しました。今回は、具体的な改定内容についてご紹介します。

2. 改定の全体像

現在運用している機能種別版評価項目<3rdG:Ver.2.0>をベースとして、以下のポイントを中心に改定を実施します。

【機能種別版評価項目<3rdG:Ver.3.0>改定のポイント】

- ・事務管理領域の評価項目・評価方法の見直し
- ・法制度改正等への対応
- ・一般病院3特有の評価方法の他種別への展開

3. 評価項目の改定について

事務管理領域や法改正等に関連する評価項目を重点的に改定します。また、評価項目の構成や要求水準について、わかりやすくなるよう見直しを行っています。

(1) 事務管理領域の評価項目の見直し

第4領域（理念達成に向けた組織運営）を中心とした事務管理領域の各中項目を以下の視点を含めて重点的に見直します。

- 理念・基本方針に基づく病院運営、ガバナンスの体制・仕組みと運営実績
- 計画的な人材の確保・育成と人事考課
- 適切な労務管理
- 病院運営に資する情報の活用、財務・経営管理、購買管理
- 患者支援体制と患者・家族の意見の質向上への活用
- 病院を取り巻くリスクに対する危機管理

(2) 法制度改正等への対応

以下に例示した各種法改正や医療関連政策等、医療を取り巻く環境の変化などを踏まえ、関連する評価項目の見直しを行っています。

- 臨床研究法の施行、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の改定
- 医療放射線安全管理体制にかかる法改正
- 働き方改革関連法の施行
- 医師の行為の代替
- 感染症対策

4. 評価方法の改定について

今回の改定では、Ver.2.0で導入された一般病院3特有の評価方法を他の審査体制区分に展開するなどの見直しを行います（表1）。

（表1）各審査体制区分で新たに導入される評価方法

審査体制 区分	カルテ レビュー	テーマ別調査		医療安全・ 感染対策 ラウンド	面接調査 (医師・歯科医師、 看護部門の教育・研修)	病院幹部 面談
		事務管理 領域	薬剤			
区分1	○					
区分2	○					
区分3	○	○ ^{※1}		○	○	
区分4	○	○		○	○	○
一般病院3	導入済	一部導入済	○	導入済 ^{※2}	導入済	導入済

※1 組織ブロック、人材ブロック、経営ブロックのみ導入予定。

※2 一般病院3で従来から実施している「医療安全ラウンド」は内容が異なります。

(1) 事務管理領域の評価方法の見直し

事務管理領域の評価項目をより適切に評価するため、関係の深い評価項目を4つの「ブロック」にまとめ、互いに関連づけながら評価を行う「ブロック毎のテーマ別調査」(面接調査)を実施します(表2)。[対象：審査体制区分3・4、一般病院3]

既に一部実施している一般病院3では、「組織ブロック」「人材ブロック」の調査を追加するとともに、調査時間を延長するなどの拡充を行います。なお、テーマ別調査の対象外の病院についても、部署訪問や面接調査において同様の考え方に沿って審査を行う予定です。

(表2) 各ブロックの評価内容

ブロック名	評価する内容
組織ブロック	理念・基本方針実現に向けた組織体制、組織運営の仕組みと取り組み状況および危機管理の状況
人材ブロック	人材確保、育成・能力評価、労務管理、安全衛生管理等の関連性と実施状況
経営ブロック	予算・収益管理と経営的な視点での購買管理、医事業務・業務委託等の取り組み状況
地域・患者支援ブロック	患者・家族からの相談への対応および地域において期待される役割発揮のための仕組みと実施状況

(2) 一般病院3特有の評価方法の他種別への展開

○カルテレビュー

複数のカルテ記載から診療・ケアの適切性、説明と同意の適切性、カルテ記載の定常状態などを確認します。[対象：全ての審査体制区分]

○医療安全・感染対策ラウンド

病棟概要確認の一部を、病棟における医療安全や感染への対策を重点的に確認するラウンドに変更します。[対象：審査体制区分3および4、一般病院3]

○面接調査(医師・歯科医師、看護部門の教育・研修)

医師・歯科医師、看護部門における人材育成が計画的・効果的に実施されているかを面接調査で確認します。[対象：審査体制区分3および4、一般病院3]

○病院幹部面談

サーベイヤーが審査を通じて確認した現場の状況を踏まえ、病院の課題やガバナンス・組織運営の状況等について、病院幹部と意見交換を行います。[対象：審査体制区分4、一般病院3]

(3) その他

○薬剤テーマ別調査の新設

薬剤管理にかかる病院の実状を踏まえて設定するテーマについて、面接調査を行います。[対象：一般病院3]

○機構指定病棟数の変更

病棟概要確認およびケアプロセス調査の対象病棟について、病院選択病棟を1つ減らし1病棟に、機構指定病棟を1つ増やして3病棟に変更します。[対象：審査体制区分3および4]

5. 審査体制区分の許可病床数の見直しについて

医療の高度化が進み、同じ病床数の病院でも従来よりも高度な機能を担っていることを踏まえ、審査体制区分3・4の受審対象許可病床数を見直します（表3）。

（表3）新しい審査体制区分

主たる機能種別	審査体制区分／許可病床数			
	区分1	区分2	区分3	区分4
一般病院1 緩和ケア病院	20 ～ 99床	100床以上		
一般病院2	20 ～ 99床	100 ～ 199床	<u>200 ～ 399床</u> ※改定前 200 ～ 499床	<u>400床以上</u> ※改定前 500床以上
リハビリテーション病院 慢性期病院 精神科病院	20 ～ 199床	200床以上		
一般病院3				

6. 受審病院への「機能種別版評価項目 解説集」のPDFによる提供

病院の質改善活動や病院機能評価の受審準備等に従来以上にご活用いただけるよう、受審いただく病院に、「機能種別版評価項目 解説集」をPDFで提供します（書籍での販売も従来通り実施します）。

今回は、改定内容の一部のご紹介となりましたが、詳細については、病院機能評価事業のWebページ（<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/>）および当機構が開催する各種セミナー等でご確認ください。

病院機能改善支援セミナー配信について

評価事業推進部では、質改善および受審準備支援を目的に、「病院機能改善支援セミナー」を開催しています。2022年3月9日から、機能種別版評価項目＜3rdG:Ver.3.0＞に対応した「2021年度 病院機能改善支援セミナー【総合】」を配信開始しました。評価項目の解説や3rdG:Ver.3.0から新たに導入される評価方法について紹介していますので、ぜひご活用ください。

また、「改善支援セミナー【看護】②実践編（活用事例）」など、多くのセミナーを動画で配信しています。詳細は以下のURLをご覧ください。

- ・2021年度 病院機能改善支援セミナー【総合】
<https://hosp.jcqhc.or.jp/public/seminar/view/2772>



- ・配信中の動画一覧

<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/wp-content/uploads/2022/03/6f2db21d181c3470447f1d35ba0f3404.pdf>

Topics

■ 教育研修事業部

2022年度セミナー・研修開催のお知らせ

教育研修事業では、全国で働く医療従事者への個の教育を目指し、各種の人材養成に力を入れています。それぞれ受講生を募集していますので、ぜひご検討ください。

【医療対話推進者養成セミナー】Web・対面開催

患者・家族と医療機関の職員の間で生じた様々な問題等について、対話を通じて協働的かつ柔軟に解決していくとする「医療コンフリクト・マネジメント」という考え方をもとに、両者の円滑な対話関係の構築に向けて、「医療メディエーション」のスキル習得を目的としています。患者サポート充実加算の要件に準拠した研修内容です。

【医療クオリティ マネジャー養成セミナー】Web開催

病院が組織として良質な医療を自律的かつ継続的に提供するための支援として、院内における質改善活動の中心となる人材の養成を目的としています。

【JQ医療安全管理者養成研修】

2020年3月改定の「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」に準拠した研修を新たに開講しました。e-learningを主体とした研修ですので、どなたでも無理なくご受講いただけます。

JQ医療安全管理者養成研修〔下期〕はWebにて6月1日より受付を開始します。

詳細やお申込み方法は、当事業ホームページをご覧ください。

<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/#education>



■ 産科医療補償制度運営事業部

「第12回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」の公表

本報告書は「新生児蘇生」と「子宮内感染」の2つのテーマを取り上げました。本報告書のテーマの1つである「新生児蘇生」では、出生後の新生児蘇生処置の分析に加え、適切な新生児蘇生処置を実施するためには、妊娠・分娩経過から出生する児の状態を予測し対応することも重要であると考えられることから、出生前の妊娠・分娩管理についても分析し、胎児心拍数陣痛図の判読と対応の研鑽、新生児蘇生法講習会の受講・更新、最新の新生児蘇生法アルゴリズムに沿った新生児蘇生処置の教育の実施等について、産科・小児科医療関係者や学会・職能団体に対して提言・要望を行うなど、産科医療の質の向上に役立つ内容となっています。

「第12回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」

http://www.sanka-hp.jcqhc.or.jp/documents/prevention/report/pdf/Saihatsu_Report_12_All.pdf



第12回 産科医療補償制度
再発防止に関する報告書

「産科医療補償制度レポートVol.1」の公表

本制度は、2009年に創設され、2022年で14年目を迎え、2009年から2014年の制度創設時の補償対象基準で補償対象となった児の実績が確定しています。本レポートは、2009年から2014年までに出生した児の補償対象者のデータ、また2020年末までの本制度の運営実績について、審査、原因分析および再発防止の観点から収集、分析を行いました。また、重度脳性麻痺の発生率、脳性麻痺発症の原因、看護・介護の状況等、制度実績から見てきたことや成果についても取りまとめました。重度脳性麻痺の発生率は、制度創設時の2009年と2014年で比較したところ、重度脳性麻痺の発生率は0.39%から0.31%に減少しました。

本レポートは関係学会・団体等に配布するとともに、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

「産科医療補償制度レポートVol.1」

http://www.sanka-hp.jcqhc.or.jp/documents/systemreport/pdf/sankareport_1_all.pdf



産科医療補償制度
レポートVol.1

イベント情報

各種セミナーを動画配信（録画型）やウェビナー（リアルタイム型）で提供しております。詳細・お申込みは、下記URLもしくはQRコードからWebサイトにアクセスしてご確認ください。

	事業	開催日/視聴期間	イベント名
動画配信	評価	お申込みから1年間	2021年度 病院機能改善支援セミナー【総合】
動画配信	評価	お申込みから1年間	2020年度 病院機能改善支援セミナー【看護】
動画配信	評価	お申込みから1年間	病院機能改善支援セミナー【ケアプロセス調査】 内科系症例・外科系症例・地域包括ケア
動画配信	評価	お申込みから3ヶ月	「患者満足度調査」「職員やりがい度調査」を活用した質改善支援セミナー
動画配信	評価	2022年3月9日～7月31日	職員やりがい度 活用支援セミナー 「コロナ禍における人材定着と人材育成」
動画配信	評価	2022年3月9日～9月30日	2021年度 医療安全文化調査活用支援セミナー
動画配信	QI	2022年3月25日～（1年間/予定）	第3回医療の質向上のためのコンソーシアム （2022年2月19日開催時録画）
ウェビナー	教育	2022年5月17日～7月3日 2022年9月21日～11月13日 2022年11月2日～12月18日	2022年度 医療対話推進者養成セミナー
ウェビナー	教育	2022年8月1日～10月21日 2022年11月1日～2023年1月27日	2022年度 医療クオリティ マネジャー養成セミナー
ウェビナー	教育	(e-learning) 2022年11月1日～2023年2月28日 (集合研修) 2023年1月18日	2022年度 JQ医療安全管理者養成研修 [下期]

※QIは「医療の質向上のための体制整備事業」の略称です。

病院機能評価事業および教育研修事業のイベント情報
https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/event_calendar/



EBM普及推進事業 (Minds) Mindsガイドラインライブラリ
<https://minds.jcqhc.or.jp>



認定病院患者安全推進協議会のセミナー情報
https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/seminar_calendar/



医療の質向上のための体制整備事業 (QI)
<https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/>



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

患者安全推進ジャーナルのご案内 (教育研修事業部)

評価機構の認定病院患者安全推進協議会が発行している機関誌です。

3月発行のNo.67の特集「医療安全の視点からみた診療記録」では、記載方法の標準化、点検方法、院内の周知方法などについて解説するとともに、各施設からの実践事例を取り上げています。

患者安全推進ジャーナルのご案内

●会員病院（毎号3冊を無料で送付します）

追加の冊数をご希望の方は、認定病院患者安全推進協議会のホームページより会員サイトにログインしてお申し込みください。会員価格は、1冊あたり1,100円（税込）です。

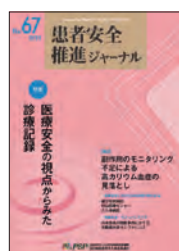
また、毎回、一定の冊数の追加をご希望の場合は、予め追加冊数を1冊単位で指定していただく「年間追加購入」のお申し込みができます。10冊単位で年間追加購入をいただく場合は、最大50%の割引となります。

詳細は、協議会ホームページをご覧ください。

(<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/journal/>)

●会員外の病院（1冊あたり3,300円（税込））

評価機構ホームページ「出版・ダウンロード」からお申し込みください。



医療安全情報の公表 (医療事故防止事業部)

医療事故情報収集等事業では、以下の医療安全情報を提供しました。

●No.184

「2021年に提供した医療安全情報」（3月）

●No.185

「使用済み内視鏡の別の患者への使用」（4月）

詳細は、本事業ホームページからご覧ください。

<https://www.med-safe.jp/>



No.184（1ページ目）



No.185（1ページ目）

自動音声案内の導入 (総務部)

評価機構では、5月1日より代表電話（03-5217-2320）へのお問い合わせに自動音声案内を導入しました。自動再生される音声案内に従い、番号を押すと関係部署に繋がります。

【自動音声の案内番号】

- 病院機能評価に関するお問い合わせは「1」
- 教育研修・患者安全推進協議会に関するお問い合わせは「2」
- その他のお問い合わせは「9」

なお、各事業直通電話につきましては従来通り、職員が応答します。

皆様のご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

編集後記

電話機も新しくなり、同じようでは異なるボタンの配置に戸惑うことがしばしばあります。使い慣れた機械に限らず、常に新しいものに適応していく柔軟さを持ちたいですね。

操作に慣れないうちはご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

評価機構

NEWS LETTER

2022年5月1日発行

発行：公益財団法人日本医療機能評価機構（略称：評価機構）

発行責任者：河北 博文

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1丁目4番17号 東洋ビル

TEL：03-5217-2320（代）／（編集：総務部）

<https://jcqh.or.jp/> e-mail: info@jcqh.or.jp

本誌掲載記事の無断転載を禁じます